
灰色魔家。

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

灰色廃家。

【Nコード】

N7676M

【作者名】

嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】

.....

安楽夜、涼み乾いた風。
べたつく雨に濡れ、眠る人。
嘘。

記憶に埋め込まれ、感度は上々。

激情が浸蝕。

開いた扉の先には、起伏した事の結果。
活発化する血液は、燻り喜んでいる。

闇を染める紅蓮の空。

塵と舞い、寸劇を隠しだしていく。

叫び響いてゆく。

殻が輝割れてゆく。

青き日々の最後。

今から廻り始めるでしょう。

『済』と割れてゆくのは、柱が昇った結果。

過去はもう失ったから、手を広げて謳う『自由』。

笑顔、涙、優しさ、哀しみ、過去、全て怒りや不満で染まる。

異常な程、事は簡単に進み。

止まるそぶりも見せず。

もう、何もかも屑と果てた。

闇を染める紅蓮の空。

塵と舞い、寸劇を隠しだしていく。

叫び響いてゆく。

殻が輝割れてゆく。

青き日々の最後。

過去から解き放たれるでしょう。

目に映る赤の点滅。

風と舞い、散る葉と共に運ばれていく。

此処は非の監獄。

唯、緋を眺めている。

空に轆かれてゆく。

望んだ事は一ツも叶わない。

夕日が僅かに差し込み、燃えるような一室。
少しずつ黒に染まり、手放した一色。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7676m/>

灰色廃家。

2010年10月21日23時54分発行